

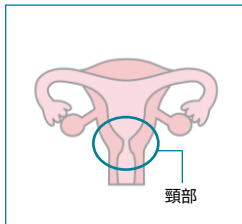
4月9日は子宮頸がんを予防する日
「子宮(49)の日」

子宮頸がんは、主な原因が分かっており、「予防できるがん」と言われています。予防ができるのに知らなかったことで、悲しい思いをする女性や家族が一人でも減るように、この日をきっかけに、まずは正しい知識を学んでみませんか？

2023.4.9
子宮の日
特別号

子宮頸がんの現状

子宮頸がんは、子宮の入り口(子宮頸部)近くにある**女性特有のがん**です。子宮頸がんになる人は、**20歳代**から増加します。



子宮頸がんにかかる人

毎年約
1万1千
人

子宮頸がん で亡くなる人

毎年約
2千9百
人

30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人

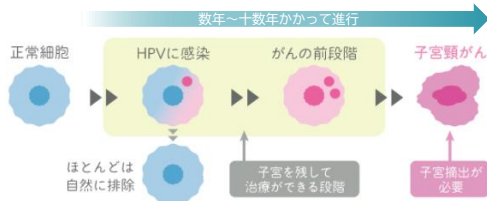
年間約
1千
人

出典：国立がん研究センター がん情報サービス 2018年全国推計値に基づく累積罹患リスク、2019年累積死亡リスク、2019年人口動態統計がん死亡データより

子宮頸がんにかかる仕組み

子宮頸がんは、**ヒトパピローマウイルス(HPV)**というウイルスの感染が原因で発生することがわかっています。

<子宮頸がん発症までのステップ>



『HPVウイルス』は、性的接触により男性にも女性にも感染します。多くの女性が経験するありふれたウイルスで、たいていは自然に消失しますが、感染が持続すると、がんを引き起こすことがあります。

HPV感染から子宮頸がんになるまでには、およそ5年から10年かかると言われています。

子宮頸がんの治療

子宮頸がんは、異形成とよばれる「**前がん病変**」を経て、進行します。

「前がん」というと怖いもののように思えますが、経過観察で済む場合や、子宮の一部を切り取る手術で治療可能な場合もあります。重要なのは、異形成を**早期に発見し、適切な対応をとる**ことです。

HPVワクチンと子宮頸がん検診

子宮頸がんは、がんの中では珍しく原因が明確なため、**予防が可能**です。

POINT 子宮頸がんの原因とされる HPVウイルスの感染を予防します

HPVワクチンの接種



HPVワクチンについて詳しく知りたい方はこちら



ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん(子宮けいがん)とHPVワクチン～



POINT 「異形成」や「がん」を早く見つけて治療します

子宮頸がん検診の受診



子宮頸がん検診ってどんな検診ですか？



*ワクチンには、すでに感染しているウイルスを排除したり、子宮頸がんの進行を遅らせたりする効果はありません。

*ワクチンだけで、子宮頸がんを完全に予防できるわけではありません。

子宮頸がん検診の流れ

知っておくと安心です

子宮頸がん検診に抵抗があるのは当然です。ですが、とても重要な検査なので、流れを知ってなるべくリラックスして受診しましょう。

受診の前に…
 ・正しい検査結果を得るためにも生理中は避けた方がよいでしょう
 ・ゆったりしたスカートなどで行くと検診を受けやすいです

1 問診

問診で聞かれる項目の一例です。あらかじめ準備しておくとう安心です。答えにくいと感じる質問もありますが、正直に答えましょう。

- ・一番最近の月経
 (開始日、日数、周期など)
- ・妊娠、出産経験の有無
- ・自覚症状の有無
- ・これまでの検診受診状況
- ・婦人科に関わる病気の有無



2 視診・内診・細胞診

脱衣して診察台に上がります。通常は、医師との間はカーテンで遮られています。



細胞診は子宮頸部の粘膜を綿棒などで軽くこすり取った細胞を顕微鏡で調べます。検査自体は30秒から1分程度で済み、痛みはほとんどありません。内診も含め、5分ほどで診察は終わります。

3 検診結果

基本的には1か月程度で受け取ることができます。郵送で届く場合と、受診して医師から説明を聞く場合があります。



結果が出た後の行動が大切です

結果が「要再検査」や「要精密検査」だった場合には

検診結果を持って、精密検査を実施できる**婦人科医療機関を受診**してください。異常がなかった場合も、**定期的な検診受診**を続けることが大切です。

どこで受診したらいいか
 分からない時は…

「病院検索サイト」が参考になります！

「かかりつけ医」を見つけましょう

女性の身体は年齢によって変化します。小さな悩みが大きな病気になる前に、困ったときに相談できる「かかりつけ医」を早めに探しておくとう安心です。精密検査が必要な場合も、焦らずに済みます。

定期的な検診を、身近な医療機関で受診することも「かかりつけ医」を見つけるきっかけの1つです。

「かかりつけ医」で受診した検診も、補助金制度の対象となります。
 *自費受診が対象

<かかりつけ医を見つけるポイント>

- ・かかりつけ医とは相性も大切
 → 1軒目の医師と合わなくても、何軒か試して自分に合った信頼のおける婦人科医を見つけましょう！
- ・身近で頼りになる医師を
 → 自宅や勤務先から通いやすい地域の医療機関を選べると便利です



<参考>
 女性の健康推進室 ヘルスケアラボ
 「病院検索 都道府県情報ネット」

子宮頸がん検診Q&A

ぜひ、ご利用ください

Q 子宮頸がんは何歳から受ければ良いですか。

A **20歳から**

子宮頸がんは、20歳代後半から30歳代後半という若い世代の方でもかかりやすいがんです。そのため20歳からの検診が推奨されています。

Q 子宮頸がん検診はどれくらいの間隔で受ければ良いですか？

A **丸井健保の補助は年1回**

国は「2年に1回」の受診を推奨しています。丸井健保では1年に1回、検診費用を補助する制度を整えています。

Q 子宮頸がん検診の費用はどのくらいかかりますか。

A **自己負担0円**

丸井健保の制度を使えば子宮頸がん検診を「実質自己負担0円」で受診できます。丸井健保に加入している奥様やお子様にもご利用いただける制度です。

とても便利な健保の制度
 今すぐCheck



乳がん検診の補助制度は
30歳から

子宮頸がん検診と一緒に
乳がん検診も受診しましょう

